
情報番号：教育技法—5

テーマ：事例研究法（ケーススタディ）

編著者：IBEX-T

1. 事例研究法とは

事例研究にはケーススタディ、ケースメソッド、インシデントプロセスがあるが、一番実施度が高いのがこのケーススタディである。事例研究といえ、このケーススタディを指すことが多い。

この方法は具体的事例に対し、講師が受講生と一体となって、客観的立場に立って「なぜこのようなことが起こったか」「起こさないためにはどのような心構えが必要か」などを討議し、原理・原則を引き出していく。ケースも比較的簡単なものが多く、討議も1ケース2～3時間程度で終わるのが標準である。

受講生が中心となる討議方式であるため、テーマに関し、興味や関心が起こるだけでなく、自主的参加を促すこともできる良さをもっている。